

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和2年度 6月号

御前崎小の日常へ

手探りの日々ですが、少しずつ新しい生活様式と共にある「御前崎小学校の日常」が戻りつつあります。「子どもたちがいる」その当たり前前の幸せを実感する毎日です。

この日常は、体温測定、マスクの準備などを始め、学校再開に心揺れるお子さんもいる中、励まし、背中を押し、送り出して下さっている保護者のみなさまと、日々見守って下さっているサポート隊や地域のみなさまのおかげです。ありがとうございます。

3密を避けながらの学校生活では、一つ一つ考えなくてはならないことが出てきます。安全・安心な学校に向けて、悩みながらも知恵を出し合い、その場面ごとに最善策を考えていく姿もありのまま、これからの時代を生きる子どもたちに伝えていけたらと思っています。

ほかほか班は御小の宝

先日、ようやくほかほか班の出会いの会を行うことができました。これも、御前崎小学校の大切な日常です。

ほかほか班は、アカウミガメ飼育や「ほっかい」同様、御前崎小学校の宝であり、アイデンティティを支える大切なものです。ほかほか班とは、6つの学年で構成された縦割り班のことで、子どもたちは、この班を単位として、掃除や遊び、行事などの活動を行います。異学年のかかわりの中で、自分や友達の新たな良さを発見してほしいと願っています。

特に6年生は、ほかほか班を通してリーダーの苦勞と喜びを味わいます。



そうじの説明

この班員の構成は、全職員で行います。リーダー役の6年生はもちろんのこと、一人一人にほかほか班での役割や願いがあるからです。「〇さんは、関係づくりが得意じゃないから心配です。」「じゃあ、こっちの班に変えた方がいいかな。明るい▽くんがいる。ちょびちょびするんだけど、やさしいから、助けてくれるんじゃないかな。」などの話し合いがあちこちで行われています。

やさしく、頼もしい6年生も、かつては1年生でした。

大好きな6年生に飛びつきたい1年生。自分がしてもらってうれしかったからこそ、1年生をおんぶしてあげたい6年生。コロナ禍で、できないことも多くなります。そんな中で、6年生が知恵をしばってくれたほかほか遊びが、今週から始まります。

思い通りにならないことがあっても、そのたびごとに一緒に考え、乗り越え、どの子にも3月には「このほかほか班でよかった」と感じてほしい。

職員一同の願いです。



応援ありがとうございます

※松ぼっくりで作った、交通安全祈願のアカウミガメマスコットをいただきました。マスコットは5・6年生に贈りました。

また、「庭に咲いたから」といただいたユリ。アルミ缶回収へのご協力など、地域に支えられている御前崎小学校だと実感しています。

